

「お歳暮」

年の暮れが近づくと、お世話になった方々へ、今年1年の感謝の気持ちと来年も変わらぬ関係が続くことを願い、「お歳暮」を贈ります。古くは神様や祖先へのお供物をする行事だったと言われています。贈る相手を想い、品物を選ぶ時間も大切に。



1年の中で感謝を伝える機会がもつとも多い12月。その時に一役買ってくれるのが贈答品です。その歴史は琉球王国の時代までさかのぼります。沖縄は諸外国との交易で特産品を贈り合うことで、琉球の力を示しつつ相手国と友好関係を築き、経済的な発展を遂げてきました。

明朝への贈答品は硫黄と馬がメイン？

膨大な外交文書が収録された史料「歴代宝案」には、琉球王朝を中心とした時代に、琉球が活発に交易を行った記録が残されています。

この史料によると、琉球は明朝との交易で、主に馬や硫黄を進貢品として贈っていたことが記録されていました。また、琉球の中山王からシャム（現在のタイ）の国王に向け、贈り物を持たせて使者を送った際の手紙には、「贈り物を持たせて感謝の思いを伝えるので受け取って欲しい」というメッセージとともに、「陶磁器を持参するのでシャムの胡椒と、蘇木（主に染料として使われた）との公平な交易を許可していただけないか」というお願いも書かれていました。手紙の最後には「贈り物一覧」として、織物、腰刀、青磁の皿、硫黄をそれぞれいくつずつ贈る、という記述もあり、実際の交易の様子を垣間見ることが出来ます。

昔の贈り物リストはロマンがあって興味深いニャ



交易を通して発展した沖縄の伝統工芸

明や清との貿易により一大貿易中継地点として成長した琉球は、「万国津梁」をうたうほどの世界の架け橋となりました。同時期に発展したのが、沖縄の漆器。14〜15世紀頃に中国との交流が盛んになり情報や技術が入ってきたことで本格的に発展し、中国や日本へ献上品として贈られるようになりました。

また、現代では着物のほか、贈答用の小物などにも使われている紅型も、交易によりもたらされたインド更紗、ジャワ更紗、中国の型紙による花布などから技法を取り入れ生まれたとされており、交易は沖縄の工芸の発展にも大きく影響を及ぼしたといわれています。

お祝いやおもてなしで生まれた琉球菓子

「ちんすこう」は、もとは王族や貴族のお祝い事のお菓子として琉球王国時代後期に作られたとされています。また、柑橘類を主原料としたお菓子「きっぱん」は、中国から冊封使が来た際に、おもてなし料理と



今はおやつとして人気のちんすこう

沖縄で喜ばれるお歳暮とは？

自分ではなかなか買わない特別感のある食品や、逆にいくつあっても困らない普段使いしやすいものなど、お歳暮選びは相手のことを考えると、つい迷ってしまいます。

県内のスーパーマーケットによると、沖縄県内で贈り合う場合、人気なのは、お米とツナ缶だそうです。お米は全国的にも贈られる機会が多そうですが、ツナ缶が多く選ばれるのは他府県では珍しいことかもしれません。お歳暮の商品選びでも、地域の特徴が見えてきます。

お菓子も人気があるよ〜



タイムマシン

第8回 贈答品編

タマ

イリオモテヤマネコ。特殊な機器を取り付けると、なんでもタイムマシンに変えられる。

ハイウ

小学4年生。平和主義者。パイン好き。

年末に向けて家の大掃除をする二人ー

パパの部屋をキレイに掃除しようニャー！

この辺はいただき物を飾っているみたいだニャー

このシーサーもキレイにしよう！

下敷いてある織物もキレイにするか！

パパはいろんな贈り物をもろうんだねー

どこのお土産なのかニャー？

贈り物といえどニャー

沖繩は外国との貿易で発展してきたけど...

その後、中国や東南アジアとの交易が盛んになり、漆器など沖縄の伝統工芸品も発達したと言われているニャー

その通り！王府の料理人が中国のお菓子作りを学んで生み出したニャー

よし！見に行くのニャー

今日はどこ行くの？

楽しみ〜

贈答品がとっても重要な役割を果たして来たんだニャー！

明朝や清朝との交易の主な輸出品は硫黄や馬、泡盛だったニャー

日本

琉球

那覇

福州

北京

中国(明)

東南アジア

アユタヤ

マラッカ

硫黄

お歳暮が届いたニャー

今年の歳暮は何かなく！！

飛びすぎニャー！

やった〜！なんだろう？！

★1年の締めくくりは、すべてのことに感謝の気持ちを込めて。



学校で看護師として働く

医療的ケア児の学校生活を支える看護師



学校で看護師として働く

医療的ケア児の学校生活を支える看護師

